



保育コンシェルジュ便り



戸田市保育幼稚園課発行 第12号 2021. 5月

戸田市では「保育コンシェルジュ」による子育て相談や保育施設利用にあたっての保育サービスの情報提供を行っております。日々子育てをされる中での悩みや不安に寄り添い子育てを応援させていただきます。また、保育業務に携わる方のご相談もお受けしています。ぜひ、一度ご来庁ください。

お電話での相談等も受け付けておりますので、ご利用ください。直通 Tel048-443-5611

戸田市の小規模認可保育園の紹介 小規模保育とは？



0～3歳未満児を対象とした、定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育です。

1人の保育スタッフが担当する子どもの人数が少ないためゆったり手厚く、子どもの発達に応じた保育を行うことができます。

小規模保育園の魅力！

☆家庭的な保育

★手厚い保育

☆混合保育

※一時預かり保育も行っています。直接各園にお問い合わせください。



【家庭的な保育】

ゆったり落ち着いた雰囲気の中で過ごすことができるため、0・1・2歳児のお子さんに最適な環境です。

【手厚い保育】

配置基準+1人以上の保育スタッフです。見守る目が増えることで、個々に寄り添った丁寧な保育ができます。

【混合保育】

年下の子と触れ合うことで、思いやりの気持ちが育ちます。年上の子への憧れや慕う気持ちが芽生えます。

※年齢別の保育時間もあります。

【戸田公園地区】

- ポップの家保育所
- ふるーる保育園
戸田公園駅前
- なすな保育園
- アメリカンキッズ
英語保育園戸田本町園
- 保育園元気キッズ
- ばすてるはうす

【北戸田地区】

- 北戸田さくら保育園
- 保育ルームスター
キッズ北戸田園
- 埼玉ヤクルト保育園
やあみい保育ルーム

【戸田地区】

- ひなた保育園
- チャイルドルーム
りとるすたあ
- 京葉流通倉庫(株)
TLC キッズランド

【喜沢地区】

- なでしこ
戸田第一保育園



小規模保育園について Q&A

Q1：2歳児クラス終了（卒園）後、3歳児クラスからの進路はなるの？

A1：認可保育園入所選考時、加点による調整があります。連携施設（幼稚園等）もあり、進路選択の幅も広がりますのでご安心ください。なお、なすな保育園については、卒園後の転園先として、かな保育園(6名)と連携しています。

※その他詳細については各施設へ直接お問い合わせください。



教えて、保育コンシェルジュ！



子どもが成長し、この頃は公園に行ったり、子育て広場の利用が増えました。でも、おもちゃの取り合いをしてしまい、お友達とトラブルになり、ヒヤヒヤすることも多く、子どもと出掛けることが憂うつになることもあります。

子どもの発達をどう捉えたら良いのでしょうか。

は～い！なんでもお尋ねください。
参考にして頂ければ、嬉しいです。



1歳半ぐらいになると大人が思う「反抗期」が始まります。なんでも「いや・いや！」と拒否する時期、大人は子育てが辛く感じてしまうこともあります。しかしながら、言葉では「いや！」と言っても、子どもの思いは「いい！」ということも多いようです。例えば「お散歩行こうね。」と言って靴を履かせようとしたときに、その靴をポイッ！と投げてしまうことがあります。子どもは“お散歩に行きたいけど、抱っこがいい！”と思ったのかもしれませんが。自分の気持ちを整理する力が弱いこの時期は、子どもの思いに振り回されたり、ただ叱るのではなく、まずは子どもの行動や思いをありのままを受け止めることが大切です。こうした経験を通し、子どもは『自立していく自分』を育て、『自律した自分』を育てていきます。この「反抗期」と思える時期を支えるのは安定した愛着関係と言えるでしょう。

大切な発達の節目をしっかり乗り越えるためにも甘えを十分受け止め、スキンシップを大切にしながら子どもの『自我』を育てて欲しいと思います。

公園等で遊んでいると、すぐに手が出てしまいます。

＜子どもの気持ちに

寄り添ってみましょう。＞

探求心旺盛で様々なことに興味津々な子どもにとっては、お友達が持っているものや行動にも関心が強く、大人が思う“ちょっかい！”をかけがちです。でも、まだ言葉を使って十分自分の思いを表現することが難しいこの時期は、周りの大人がお子さんの抱える気持ちに寄り添い、代弁してあげることが大切です。

同時に相手の思いも汲み取り、行動を振り返ってあげることも必要です。

また、“順番”ということも理解できるように、行動を見守っていききたいものです。



うちの子の発達を、周りのお友達とついつい比較し不安に感じてしまいます。

＜成長を見つけ、それを喜びとし、

思いを伝えていきましょう。＞

子どもの発達は、小さければ小さいほど個人差が大きいものです。

親は同年齢の子どもを見るとついつい比較しがちです。おむつがとれない、言葉が遅い等々。しかし、子どもの発達は一人ひとり違います。発達の階段は一步ずつ、時間差はあるかもしれませんが、着実に登っていきます。「よくできたね。」「ありがとう！」、親の気持ちを言葉で表し、成功体験を積み重ねていくことが大切です。

それでも不安を感じたときは、かかりつけ医、福祉保健センターの健診等で相談してみるのも良いでしょう。



『子育てで一番大切なこと』ってな～に？

「子育てで一番大切なことは、子どもの自己肯定感を育むことです。」親の褒め方が上手になると叱ることが減ります。日頃から子どもの頑張りや成長を見つけその姿を喜びとして伝えることが必要です。また、叱るときは子どもと同じ目線に立ち、

「お母さんは…」「お父さんは…」と親を主語に気持ちを伝えると良いでしょう。

叱った後は『〇〇ちゃん大好きだよ！』のフォローも大切にしたいものです。

